

評価項目	評価指標	具体的方策	評価基準					
			4	3	2	1		
確かな学力	<p>気付く子【メタ認知】</p> <p>振り返りを活用して価値ある物事に気付く児童に</p>	<p>○各単元末テストの平均点 3～6学年85点以上、1～2学年90点以上</p> <p>○基礎・基本の徹底 ・振り返りを活用した指導の充実（一人1授業以上の提案：示範授業含） ・声に出す活動の充実（音読・朗読・歌唱：ドミノ発表会など） ・書く活動の充実（海小タイム、作品応募） ・80%未満児童への個別指導（低学年段階での「コグトレ」実施、ドリルタイムの活用、給食前学習）</p>	平均点の割合	プラス5点以上	0～プラス5点未満	0～マイナス5点未満	マイナス5点以下	
	<p>○標準学力調査の平均正答率が全国平均7ポイント以上。</p>	<p>○実践力を育成する問題解決的な道徳教育 ○読書活動の充実 ・教科等における読書活動、調べ学習（読書感想文・ポップづくり・ビブリオバトル等） ・学年に応じた読書の量と質の向上（30冊読書の取組・担任以外の読み聞かせ「ドキドキ読書：」） ・図書委員会や子ども司書による多読の取組（ブックフェスなど） ○家庭学習の充実（音読・計算・漢字・自主学習）</p>	目標値に対する学校平均正答率	10pt以上上回る	7～10pt未満上回る	0～7pt未満下回る	上回る	
豊かな心	<p>考える子【コミュニケーション能力】</p> <p>対話と協働を通して考え、自分や人を大切にすることができる児童に</p>	<p>○気持ちの良い挨拶のできる児童 85%</p> <p>○「挨拶日本一」への取組 ・各学級・心の元気委員会による校門での挨拶運動 ・挨拶の意義の確認・挨拶標語等での啓発・振り返り ・挨拶名人の選出と活躍</p> <p>○道徳の実践力を発揮させる特別活動 ・たてわり班活動の充実 ・委員会活動による互いのよさを認め合う活動 ・学級活動による集団決定と自己決定</p>	児童の自己評価を踏まえた教師の見取り	95%以上	85%以上	75%以上	70%未満	
	<p>○自分にはよいところがあるとと思う児童 85%以上</p>		児童の評価を踏まえた教師による見取り	95%以上	85%以上	85%未満	75%未満	
健やかな体	<p>行動する子【主体性】</p> <p>体験活動を通して心と体が健康な児童に</p>	<p>○休憩時間に月20ポイント以上外遊びをする児童 80%以上（休憩時間以外遊びをすると1ポイント）</p>	<p>休憩時間に月20ポイント以上外遊びをする児童の割合</p>	90%以上	80%以上	70%以上	60%未満	
		<p>○体力テストで体力項目の70%以上が前年度の県平均を上回る</p>	<p>○大休憩・学級タイム・ロング昼休憩における児童全員外遊び活動 ○運動委員会による運動に親む環境づくり（外遊びポイントカード、遊びの紹介、道具の使い方・縄跳び講習会など） ○自己最高記録への挑戦（完走大会・長縄大会・縄跳び・体力アップ貯金カード）</p>	<p>体力テストで体力項目の70%以上が前年度の県平均を上回る児童の割合</p>	80%以上	70%以上	60%以上	60%未満
		<p>○生活リズムカレンダーで自分が設定した就寝時刻の目標が達成できた割合70%以上</p>	<p>○学級活動や保健の授業、生活リズムカレンダーや児童朝会での保健委員会による睡眠時間の啓発等。</p>	<p>生活リズムカレンダーの早寝の項目においてA評価の児童70%以上</p>				
信頼される学校	<p>可能性を信じ、学び続ける教職員</p> <p>タイムマネジメントと教師力の向上</p>	<p>○時間外勤務45時間以内の職員の割合 100%以上</p>	<p>○企画運営委員会・分掌部会・学年主任会・学年会・SST・終会・つがやきファイル等による共有と行動目標の確認 ○終会時におけるミニ研修の実施 ○学期末評価事務作業日の設定 ○全教職員による環境整備 ○定時退校日の設定（原則水曜日）</p>	<p>入退校時刻記録を基にした時間外勤務45時間以内の職員の割合を100%以上</p>	100%	90%以上	80%以上	80%未満